

形成された菌は購入後、使用するまで5〜15℃の場所で乾燥させないよう保管し、できるだけ早く(1週間以内を目処に)使用します。



シイタケの発生は、種駒は植菌翌年の秋以降になりますが、形成された菌は、植菌した年の秋に発生が見込めます。

形成された菌は、オガ菌を駒型に加工し、発砲スチロールのフタを付けたものです。

2. 種駒の種類と取り扱い方

種駒には種駒や形成菌、オガ種駒がありますが、その中の形成菌について紹介します。

1. 原木

しいたけ原木は、伐採する方法もありませんが、購入をお勧めします。植菌するまでの間は直射日光を当てないよう保管し、遮光ネットなどで覆っておきましょう。

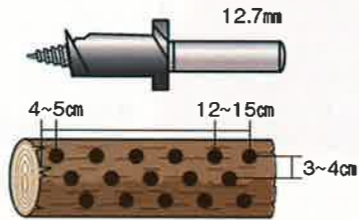
原木しいたけの栽培



3. 植菌

植菌は1月〜2月に行います。植菌はドリルを使用し直径12.7mmの穴を空け、刃はストッパーの付いた専用のもので使用します。穴の間隔は12〜15cmとし、条間は3〜4cmとします。

菌は、指で形成された菌を穴に押し込むか、木づちで軽く叩き埋め込みます。その際に形成された菌の頭が樹皮面より押し込みすぎたり挿入不足にならないよう注意してください。



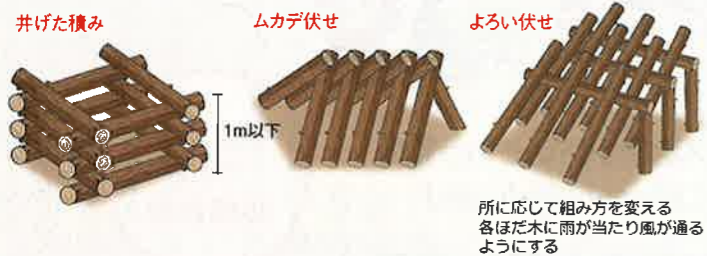
植菌後は積み重ね、その日のうちにシートや黒ネットで覆います。3月以降は林内や日陰地でネットなど通気性のある資材で覆い、一週間に1〜2回散水してください。

4. 伏せ込み

4月頃には、木の下や日陰のある場所に移動し、すき間があくように組みかえます。建物や塀の壁・庭木に立て掛けてもかまいませんが、乾燥させないように工夫します。



日が射すところは遮光ネットなどで日陰を作りまします。(直射日光は避けてください)また、雨に当たる場所とし、庭先などでは乾燥しないよう散水をごまめに行いましょう。



5. シイタケの発生

夏から秋にかけては水分が必要のため、多めに散水します。10月には、風当たりが弱く乾きすぎない場所、シイタケが採りやすいようにほだ木を立てます。



低温・乾燥が続くと枯死するため、ビニールで覆って温室状態にして成長促進させます。春は成長が早いいため採り遅れないように採取しましょう。



農業所得申告支援資料のインターネット閲覧サービス (Farming Press) のご案内

JAより農業所得申告支援として、毎年1月頃に申し込み者に提供している「農業所得申告支援資料」(JAでの購買・販売事業のご利用分)がインターネットで閲覧できるようになりました!

Farming Press はこんなに便利!

- 毎月、前月分の収支内訳書・取引明細書等を閲覧できます。
- データをダウンロードして、パソコンで集計することができます。
- パソコンだけでなくスマートフォンやタブレット端末など、いつでもどこでも手軽にご利用いただけます。

Farming Press でJAとの取引情報を確認!

- JAから配付される前にタイムリーに、販売の精算通知書や購買請求書等が閲覧できます。
- 通知書等の内容をパソコンにダウンロードすることができます。
- 取引の情報は、最長で過去3年まで(ただし、平成27年分)から閲覧できます。



無料でご利用いただけます♪

■ お問合せ先
JAレーク伊吹 経済部 営農企画課
☎ 0749-63-2101



近畿農政局からのお知らせ

収入保険制度のご案内

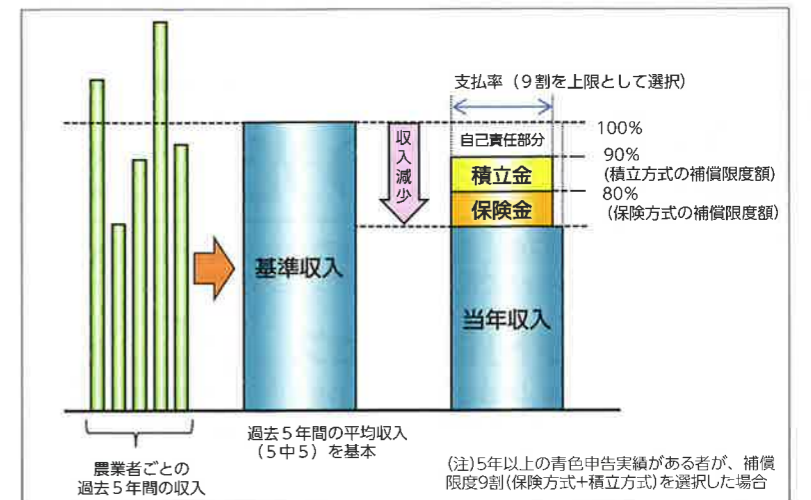
青色申告は、自分の経営を客観的につかむための重要なツールです。青色申告には、税制上のメリットもありますので、早速、取り組んでみましょう。
新たに青色申告(簡易方式を含む)を始める個人の場合、平成29年3月15日までに、最寄りの税務署に「青

色申告承認申請書」を提出する必要があります。
なお、政府の農林水産省・地域の活力創造本部において、青色申告を行っている農業者を対象とした収入保険制度の導入が決定されました。

【収入保険制度の主な内容】

- 農業者ごとの農産物の販売収入全体の収入減少を補てんする任意加入の制度。
- 類似制度(農業共済やナラシ対策等)とは選択加入。

〈収入保険制度の補填方式〉



■ お問合せ先
近畿農政局地方参事官(滋賀県担当)
☎ 077-522-4261(代表)

